

平成23年行政事業レビューシート

(文部科学省)

<b>事業名</b>	ライフサイエンスに関する安全の確保及び生命倫理への取組		<b>担当部局庁</b>	研究振興局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成20年度～平成22年度		<b>担当課室</b>	ライフサイエンス課生命倫理・安全対策室		安全対策官 渡辺 栄二		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	VII-2 科学技術が及ぼす倫理的・法的・社会的課題への責任ある取組の推進				
<b>根拠法令 (具体的な条項も記載)</b>	-		<b>関係する計画、通知等</b>	第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)				
<b>事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)</b>	最先端のライフサイエンス研究に関する諸課題に関し、法令に基づく対応、研究の進展状況を踏まえた対応、事業者への法令等の周知による法令等の遵守の徹底等を図り、最先端のライフサイエンス研究の発展と社会の調和に貢献する。							
<b>事業概要 (5行程度以内。別添可)</b>	科学技術の社会的信頼を獲得するため、ライフサイエンスに関する安全の確保及び生命倫理に関する諸課題に対する調査検討、法令に基づく対応、法令等の説明会の開催、実施状況調査等を実施する。							
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	35.4	23.5	21.9	-	-	
		補正予算	▲ 0.5	▲ 2.4	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	34.9	21.1	21.9	-	-	
	執行額		18.9	15.7	16.7			
執行率(%)		54.2%	74.4%	76.3%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 ( - 年度)
	本経費は、研究の発展・動向を踏まえた適時適切な対応が必要であるとともに、研究機関等からの申請・届出等によるものであることから、予め目標値を定量的に示せるものではない。		成果実績					
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	本経費は、研究の発展・動向を踏まえた適時適切な対応が必要であるとともに、研究機関等からの申請・届出等によるものであることから、予め活動指標を定量的に示せるものではない。		活動実績 (当初見込み)				( ) ( )	-
<b>単位当たり コスト</b>	(円/ )		算出根拠	本経費は、各種調査検討、法令等の説明会の開催、実施状況調査等の種々の業務を研究の進展等に対応して適宜行うためのものであり、1単位あたりのコストを算出できる性質のものではない。				
<b>平成23・24年度 予算内訳</b>	<b>費目</b>	23年度当初予算	24年度要求	<b>主な増減理由</b>				
	計	-	-					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・用途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	—	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	—	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○本事業にかかる経費は、文部科学省において直接執行し、会計規則に基づき適切な処理を行った。平成23年度からは「ライフサイエンス研究開発推進経費」に整理統合され、本事業は廃止となった。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>平成21年度レビューの指摘を踏まえ、平成22年度をもって廃止の上、他事業と整理統合している。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

A. 文部科学省  
16.7百万円

非常勤職員手当 10.3百万円  
職員旅費 3.7百万円  
庁費 1.9百万円  
委員等旅費・諸謝金0.8百万円

を含む

科学技術の社会的信頼を獲得するため、ライフサイエンスに関する安全の確保及び生命倫理に関する諸課題に対する調査検討、法令に基づく対応、法令等の説明会の開催、実施状況調査等を実施する。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)

A.文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
非常勤職員手当	非常勤職員手当	10.3			
職員旅費	法令等実施状況調査等	3.7			
庁費	会議開催費等	1.9			
委員等旅費・諸謝金	会議出席旅費等	0.8			
計		16.7	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)